

2024 年度 埼玉医科大学医学部の
卒前医学教育に関するアンケート調査結果

2025 年 5 月 10 日
埼玉医科大学 IR センター

埼玉医科大学医学部の卒前医学教育に関するアンケート調査

【概要】

目的・趣旨 本学医学部卒業生の学修成果を明らかにし、その結果を卒前の学部教育の改善に活かすことを目的とする

対象者 埼玉医科大学関連3病院の研修協力施設（28施設）及び3病院研修管理委員会委員

実施日 令和7年3月1日～4月15日

回収方法 IRセンターにてFAXまたはGoogleフォームで回収

回収結果 研修協力施設13施設（回収率 46.4%）

3病院研修管理委員会委員（以後「3病院」）27人（大学病院14、総合医療センター12、国際医療センター1）（回収率52.9%）

【結果の概要】

1 肯定的な点

「臨床医にふさわしい態度を身につけている」は、学外の研修協力施設では、否定的な意見「あまりそう思わない」が認められたが、3病院では100%が肯定的な意見であった。「積極的に診療に参加している」「知識を応用する力がある」では、研修協力施設では100%が肯定的な意見であったが、3病院では否定的な意見「あまりそう思わない」が認められ、「そう思う」と回答した割合が、それぞれ53.8%、30.8%と低い。

優れている点としては、研修協力施設では、素直、優しい、患者に寄り添う姿勢、患者への対応、柔軟性、リーダーシップ、などがあげられ、3病院では、温和である、穏やか、素直、患者さんへの対応（患者を思いやる、優しい）、患者ご家族に優しく接する、比較的積極的、臨床が好き、熱心、コミュニケーション能力があげられた。

2 改善すべき点

改善すべき点としては、研修協力施設では、積極性、高齢者とのコミュニケーション力、海外への関心や意欲、愛校心、埼玉県の脆弱な地域医療体制への理解などがあげられた。3病院では、自ら調べる、社会貢献を果たすことへの積極性や貪欲さが不足していること、社会人としてのマナーの習得が不十分、学問・疾患への探究心などリサーチマインドの不足、知識量が乏しい、プレゼンテーションの技量、志、明確なビジョンと目的と目標が無いなどがあげられた。

卒前医学教育に対する期待する点・改善点としては、研修協力施設からは、「研修医時代の自分と比較すると、卒前教育の充実度を感じている」「疾患だけでなく疾患を持った人間をみるということ、その方の人生の背景を考えられるようになる」「地域医療にすすむ気持ちをすすめてほしい」「世界でも通用する医師になることを目指し、広い視野を持ってほしい」「埼玉県の脆弱な地域医療体制への理解と貢献」「より多くの研修医を秩父地域に派遣していただけるようご配慮をお願いしたい」などの意見があった。3病院からは、「社会人としてのマナーの研修が必要」「受け身ではなく自主的に学ぶ姿勢を身につけてもらいたい」「もっと臨床研究や基礎研究の意義を伝えられるとよい」「医師の偏在、診療科の偏在が社会に及ぼす影響を考えて欲しい」「チームの一員として貢献できるようにしたい」「体調不良による欠席者への対応と臨床実習への参加の意義の周知の必要性」などの意見のほか、今後の教育体制についての意見、本アンケートの意義についての意見が得られた。

【集計結果】

問1 現在貴院には埼玉医科大学出身の医師が勤務していますか。

研修協力施設 勤務している：12施設、勤務していない：2施設

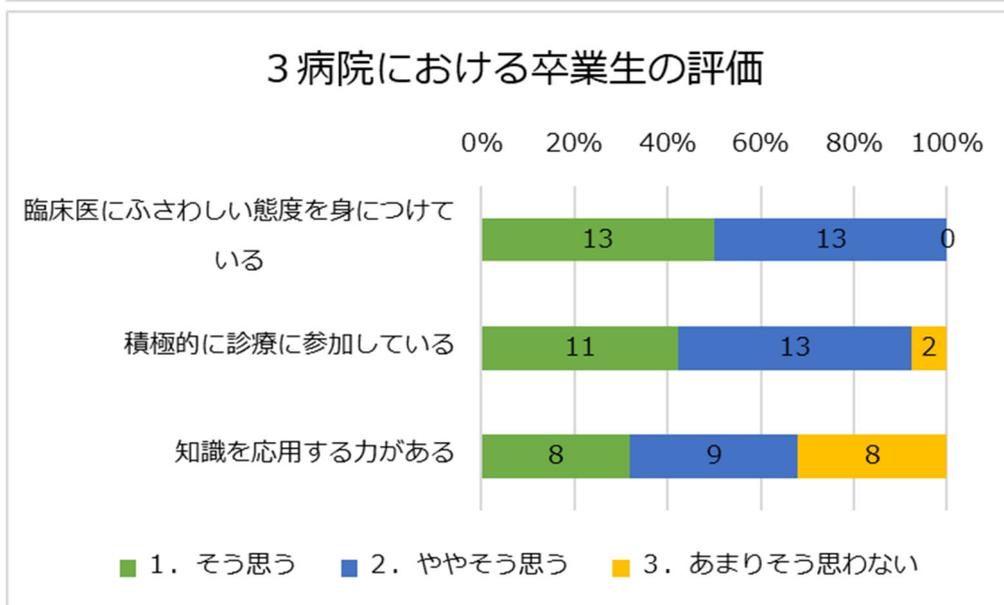
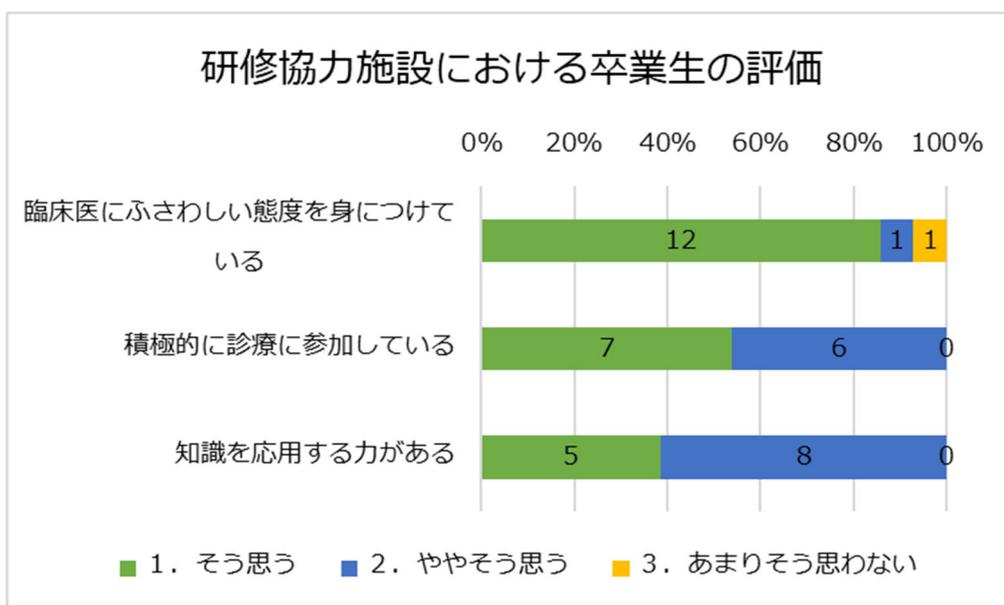
埼玉医科大学3病院 勤務している：26人、勤務していない：1人(歯科)

問2 過去3年間、貴院では埼玉医科大学出身の初期研修医の研修（地域医療研修を含む）を受け入れていますか。

研修協力施設 受け入れている：12施設、受け入れていない：2施設

埼玉医科大学3病院 受け入れている：26人、受け入れていない：1人

問3 埼玉医大出身医師の特徴として、ご回答者様のお考えに最も近い番号に○をつけてください。



2023 年度 埼玉医科大学医学部の
卒前医学教育に関するアンケート調査結果

2024 年 4 月 12 日
埼玉医科大学 IR センター

埼玉医科大学医学部の卒前医学教育に関するアンケート調査

【概要】

目的・趣旨 本学医学部卒業生の学修成果を明らかにし、その結果を卒前の学部教育の改善に活かすことを目的とする

対象者 埼玉医科大学病院の研修協力施設（28施設）

実施日 令和6年3月1日～3月31日

回収方法 IRセンターにてFAXまたはGoogleフォームで回収

回収結果 18施設（回収率 64.3%）

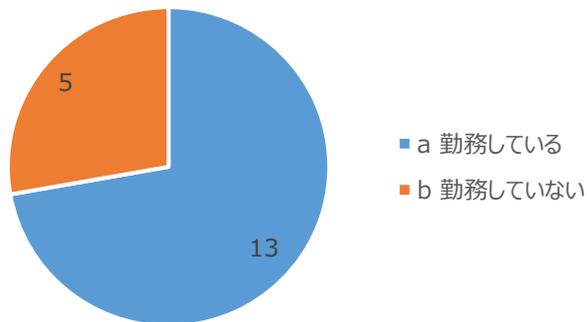
【結果の概要】

「臨床医にふさわしい態度を身につけている」「積極的に診療に参加している」は、100%が肯定的な意見であったが、「知識を応用する力がある」では、否定的な意見「あまりそう思わない」が認められ、「そう思う」と回答した割合が、前の2つの質問（61.1%、44.4%）と比較して33.3%と低い。優れている点としては、患者の立場に立った態度、コミュニケーション能力、人柄などがあげられ、改善すべき点としては、粘り強さ、勉強量、知識は充分あるが、その応用や技術の応用への積極性が少ない印象などがあげられた。

卒前医学教育に対する期待する点・改善点としては、「コミュニケーション能力の向上の教育」「患者ファーストの医師を目指して欲しい」「医学のみならず、色々な経験をすることを期待」「基本的な考え方、病態生理から病状を判断すること」「フットワーク、コミュニケーション能力に長ける医師になってほしい」という意見が見られた。

【集計結果】

問1 現在貴院には埼玉医科大学出身の医師が勤務していますか。



aと回答された場合には、以下の問3、問4にもご回答ください。

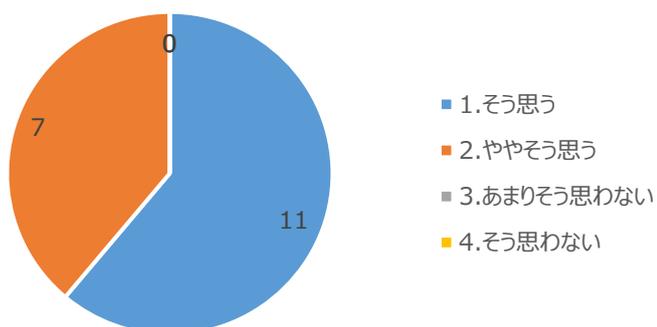
問2 過去3年間、貴院では埼玉医科大学出身の初期研修医の研修（地域医療研修を含む）を受け入れていますか。



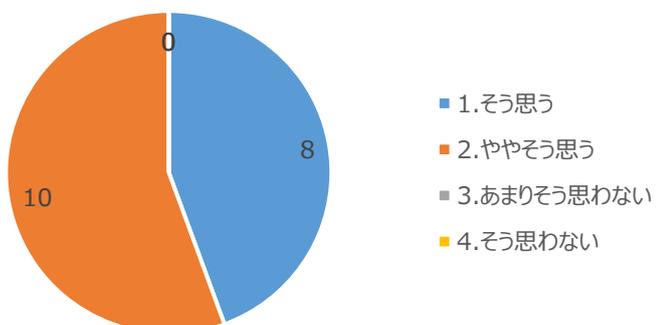
aと回答された場合には、以下の問3、問4にもご回答ください。

問3 埼玉医大出身医師の特徴として、ご回答者様のお考えに最も近い番号に○をつけてください。

(1) 臨床医にふさわしい態度を身につけている



(2) 積極的に診療に参加している



(3) 知識を応用する力がある

